

## MICE関係者からの主な意見と本市の考え方

	MICE関係者からの意見	本市の考え方
1	大規模なコンベンションを誘致する際には国際センターのみでは不足するため、ホールを含め、施設内を使用させてほしい。	これまで青葉山交流広場にテントを設置して開催されたものと同等の大規模学会については、複合施設および周辺施設も含めた形で開催が可能となるよう配慮し、複合施設の優先予約、(主要な諸室を借り切った場合に) エントランス・駐車場等のオープンエリアの占有利用を認める等の特例的取り扱いを行うことを検討します。
2	大規模医学系学会で使用できる会議室が不足しているため、300~500㎡の会議室を複数整備してほしい。	会議室という名称の諸室を整備することは想定していませんが、大規模学会開催時には音楽リハーサル室や舞台芸術リハーサル室、ワークショップルーム等の諸室を会議室や控室として活用できるようにする方向で検討を進めます。
3	国際センターが埋まっている場合、中小規模のMICEを複合施設単独で開催できるようにしてほしい。	複合施設は、文化芸術や災害文化のために整備する施設であることから、本来目的の利用者に過度な影響が及ばないようにする必要があります。そのため、国際センター内で対応しきれない大規模学会という条件に合致するものに限り優先予約を認める方向で、基準を設けることを検討します。ただし、通常予約の期間で施設が空いている場合に貸し出すことは可能であると考えています。
4	大規模医学系学会開催時には、展示・ポスターセッション等のため、1,000~3,000㎡のフラットで、参加者のみが入れるクローズドなスペースが必要である。	エントランスとして1,200㎡程度の空間を設けることや、大ホールや小ホールのホワイエを開放利用可能なものとするを想定しています。また、中心部震災メモリアル拠点の展示スペースや屋外広場などの活用も考えられるところであり、大規模学会開催時にはこうした場所をフラットなスペースとして利用できるように検討を進めます。
5	複合施設にフラットな駐車場が整備される場合には、MICE開催時にテントの設置場所として使えるとよい。	駐車場の規模については今後の検討となりますが、大規模学会で全館貸し切りとする際は、平面駐車場も含めて主催者側で活用方法を決めて良いこととする方向で検討を行います。ただし、テントの設置・撤去は速やかに行い、学会開催前後の日程への影響を可能な限り少なくしてもらう必要があると考えています。
6	国際センター周辺は飲食できる場所が少ないため、複合施設内に飲食施設が整備できれば、少しはその問題が緩和される。	複合施設にはカフェ・レストランを設ける方向で検討しており、MICEにおける小規模なレセプション等で活用されることも想定しています。また、屋外広場はキッチンカーの乗り入れを可能なものとし、飲食が自由にできる広場とする方向で検討します。
7	雨に濡れずに会場間を移動できることが主催者から要望として出されることが多いため、配慮してほしい。	地下鉄駅から雨に濡れずに施設に入ることができるようにすることは施設の来館者にとってもメリットが大きいと考えられるため、その方向で検討を進めます。
8	コンベンションの誘致は数年前(3~5年前)から始まる。施設の優先予約を可能としてもらいたい。	国際センター内で対応しきれないという基準に合致する大規模学会に絞ったうえで、4~5年前からの優先予約を導入することを検討します。管理運営計画策定時に優先予約の詳細を検討します。
9	早朝・夜間帯も施設を利用できるようにしてほしい	早朝・深夜の開館延長については、今後管理運営の詳細を固める中で議論します。巡回(ツアー)型の文化芸術公演などにおいても需要があると考えています。
10	催事が重なったときに地下鉄の混雑が懸念される。	地下鉄駅や国際センター等の近隣施設とイベント開催情報を共有し、主催者や来場者に適宜注意喚起を行っていくなどの配慮を行う方向で検討します。